



⑨ 中高 音楽科問題の解答について（注意）

1. 解答はすべて、別紙のマークシートに記入すること。
2. マークシートは、電算処理するので、折り曲げたり、汚したりしないこと。また、マーク欄はもちろん、余白にも不要なことを書かないこと。
3. 記入は、HBまたはBの鉛筆を使って、ていねいに正しく行うこと。（マークシート右上の記入方法を参照）消去は、プラスチック消しゴムで念入りに行うこと。
4. **名前の記入** 名前を記入すること。
5. **教科名の記入** 教科名に「音楽」と記入すること。
6. **受験番号の記入** 受験番号欄に5けたの数で記入したのち、それをマークすること。
7. **解答の記入**
 - ア. 小問の解答番号は1から63までの通し番号になっており、例えば、25番を

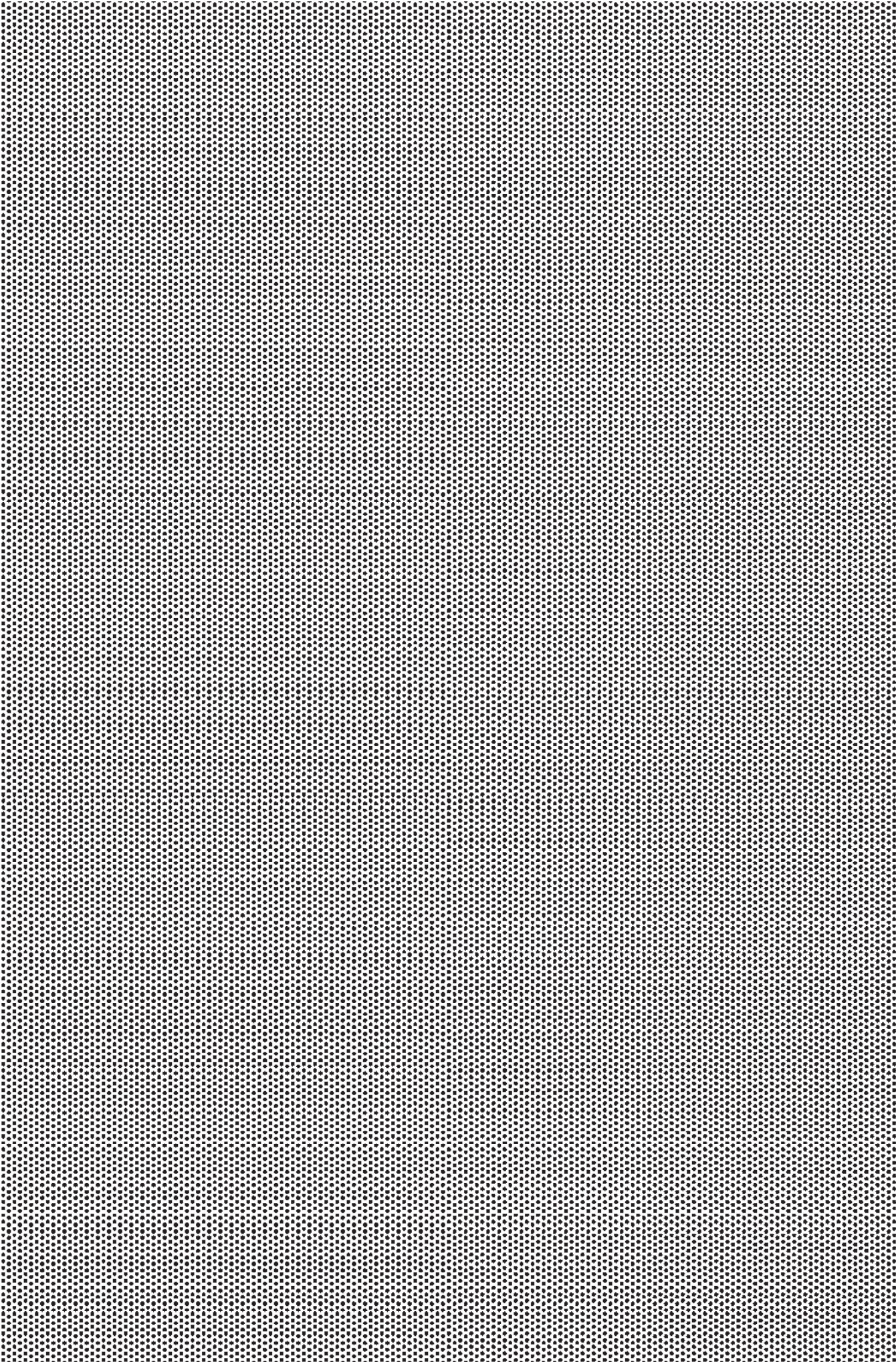
25

 のように表示してある。
 - イ. マークシートのマーク欄は、すべて1から0まで10通りあるが、各小問の選択肢は必ずしも10通りあるとは限らないので注意すること。
 - ウ. どの小問も、選択肢には①、②、③……の番号がついている。
 - エ. 各問いに対して一つずつマークすること。

（マークシート記入例）

フリガナ	ユウベタロウ
名前	神戸太郎
教科名	音楽

受験番号					小問番号	解答記入欄										小問番号	解答記入欄										小問番号	解答				
						1 - 25											26 - 50											51				
数字で記入……	/	2	3	4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	51	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	52	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	53	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	54	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	55	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	56	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	32	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	57	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	33	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	58	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	34	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	59	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	35	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	36	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	61	0	0	0	0



【1】 次の問いに答えよ。

(1) 「小学校（中学校）学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」（平成29年7月 文部科学省）における「第2章 道徳教育の目標」に関する記述のうち、内容が適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。なお、文中に「児童」とあるのは、中学校・特別支援学校中等部では「生徒」に読み替えなさい。

- ① 学校における道徳教育は、児童の発達の段階を踏まえて行われなければならない。その際、多くの児童がその発達の段階に達するとされる年齢は目安として考えられるものであるが、児童一人一人は違う個性をもった個人であるため、それぞれ能力・適性、興味・関心、性格等の特性等は異なっていることにも意を用いる必要がある。
- ② 特別活動における学級や学校生活における集団活動や体験的な活動は、日常生活における道徳的な実践の指導を行う重要な機会と場であり、道徳教育において果たす役割は大きい。
- ③ 道徳科の中で道徳的価値の理解のための指導を行う際には、特定の道徳的価値を絶対的なものとして指導したり、本来実感を伴って理解すべき道徳的価値のよさや大切さを観念的に理解させたりする学習に終始することのないように配慮することが大切である。
- ④ 道徳的判断力は、道徳的価値の大切さを感じ取り、善を行うことを喜び、悪を憎む感情のことである。人間としてのよりよい生き方や善を志向する感情であるとも言える。的確な道徳的判断力をもつことによって、それぞれの場面において機に応じた道徳的行為が可能になる。
- ⑤ 道徳性の諸様相には、特に序列や段階があるということではない。一人一人の児童が道徳的価値を自覚し、自己の生き方についての考えを深め（*中学校では「人間としての生き方について深く考え」）、日常生活や今後出会うであろう様々な場面、状況において、道徳的価値を実現するための適切な行為を主体的に選択し、実践することができるような内面的資質を意味している。

- (2) 次の文は、「小学校（中学校）学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」（平成29年7月 文部科学省）における「第5章 道徳科の評価」に関する記述の一部である。（ア）～（ウ）にあてはまる適切な語句の組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。なお、文中に「児童」とあるのは、中学校・特別支援学校中等部では「生徒」に読み替えなさい。

学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育における評価については、教師が児童一人一人の人間的な成長を（ ア ），児童自身の自己のよりよい生き方を求めている（ イ ）を評価し、それを勇気付ける働きをもつようにすることが求められる。そして、それは教師と児童の温かな（ ウ ）な触れ合いに基づいて、共感的に理解されるべきものである。

- ① ア 見守り イ 努力 ウ 人格的
- ② ア 見守り イ 態度 ウ 情緒的
- ③ ア 支援し イ 態度 ウ 人格的
- ④ ア 支援し イ 努力 ウ 人格的
- ⑤ ア 支援し イ 努力 ウ 情緒的

- (3) 次の文は、「小学校（中学校）学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」（平成29年7月 文部科学省）における「第3章 道徳科の内容」に関する記述の一部である。（ア）～（エ）にあてはまる適切な語句の組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

[小学校]

[友情, 信頼]

[第1学年及び第2学年]

友達と仲よくし, (ア) こと。

[第3学年及び第4学年]

友達と互いに (イ), 信頼し, (ア) こと。

[第5学年及び第6学年]

友達と互いに信頼し, 学び合って友情を深め, 異性についても (イ) ながら, (ウ) を築いていくこと。

[中学校]

[友情, 信頼]

友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち, 互いに励まし合い, 高め合うとともに, 異性についての理解を深め, 悩みや (エ) も経験しながら (ウ) を深めていくこと。

- | | | | | | | | | |
|---|---|------|---|------|---|------|---|----|
| ① | ア | 助け合う | イ | 話し合い | ウ | 人間関係 | エ | 対立 |
| ② | ア | 助け合う | イ | 理解し | ウ | 人間関係 | エ | 葛藤 |
| ③ | ア | 助け合う | イ | 話し合い | ウ | 友人関係 | エ | 葛藤 |
| ④ | ア | 協力する | イ | 理解し | ウ | 友人関係 | エ | 対立 |
| ⑤ | ア | 協力する | イ | 話し合い | ウ | 人間関係 | エ | 対立 |

【2】 次の楽譜の歌唱教材について、下の問いに答えよ。

The musical score is in 3/4 time and B-flat major. It consists of four staves. The first staff, labeled 'A', contains a melody starting on G4, moving to A4, Bb4, A4, G4, F4, E4, D4, C4. The second staff is a blank box labeled 'D'. The third staff, labeled 'B', contains a melody starting on G4, moving to A4, Bb4, A4, G4, F4, E4, D4, C4. The fourth staff, labeled 'C', contains a melody starting on G4, moving to A4, Bb4, A4, G4, F4, E4, D4, C4. Below the fourth staff is a blank box labeled 'E'.

(1) この曲の強弱について、空欄A、B、Cにあてはまるものの適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① A—*mp* B—*p* C—*mf*
- ② A—*mp* B—*mf* C—*f*
- ③ A—*pp* B—*mp* C—*mf*
- ④ A—*mf* B—*mp* C—*f*
- ⑤ A—*mf* B—*mp* C—*mf*

4

(2) この曲の説明として適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ア 岡野貞一作曲、高野辰之作詞の曲である。
- イ 三部形式である。
- ウ 第三フレーズに曲の山がある。
- エ 初冬の風景が一日の時間の経過に沿って歌われる。

- ① ア・イ ② イ・ウ ③ ウ・エ ④ ア・イ・ウ ⑤ ア・ウ・エ

5

(3) ㉔にあてはまる正しい旋律を①～⑤から選び、番号で答えよ。

① 

② 

③ 

④ 

⑤ 

6

(4) ㉕にあてはまる 3 番の歌詞を①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① しぐれふりて ひはくれぬ
- ② かえりざきの はなもみゆ
- ③ いまださめず きしのいえ
- ④ ひとをはたに むぎをふむ
- ⑤ それとわかじ のべのさと

7

(5) 「歌詞の表す情景を思い浮かべながら歌おう」という題材名を設定し、小学校 5 年生に歌唱の授業を行う。学習活動として適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ア 範唱を聴いて、気付いたことや感じたことを話し合う。
- イ 長調と短調を比べて、どのようなイメージを感じたか話し合う。
- ウ 旋律の特徴や強弱記号に気を付けて歌う。
- エ 歌詞を読んでその情景を味わい、適切な表現を考え発表する。
- オ 日本の伝統的な音階のよさを味わって演奏する。

- ① ア・イ・エ ② ア・ウ・エ ③ ア・ウ・オ ④ イ・ウ・エ ⑤ イ・エ・オ

8

【3】 次の楽譜の歌唱教材について、下の問いに答えよ。

(1) 作詞者を①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 林古溪 ② 吉丸一昌 ③ 武島羽衣 ④ 土井晩翠 ⑤ 三木露風

9

(2) A～Dにあてはまる強弱記号について、正しいものの組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

	A	B	C	D
①	<i>mp</i>	<i>f</i>		<i>mf</i>
②	<i>mp</i>	<i>mf</i>		<i>f</i>
③	<i>p</i>	<i>mf</i>		<i>p</i>
④	<i>mf</i>	<i>f</i>		<i>mp</i>
⑤	<i>mf</i>	<i>f</i>		<i>p</i>

10

(3) この曲の説明として適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ア この曲の歌詞の前半部は七五調で書かれている。
 イ 旋律に跳躍進行が多く、最大で長六度の跳躍進行がある。
 ウ この曲は作詞者が幼少期に過ごした桂浜をイメージして執筆したとされる。
 エ 自然の美しさを歌っており、歌詞に「波」「貝」「月」「星」が登場する。

- ① ア・ウ ② ウ・エ ③ ア・イ・ウ ④ ア・イ・エ ⑤ イ・ウ・エ

11

(4) この曲の歌詞に登場する「あした」「ゆうべ」「もとおれば」の意味として適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① あした：明日 ゆうべ：昨晚 もとおれば：見渡せば
- ② あした：朝 ゆうべ：昨晚 もとおれば：さまよえば
- ③ あした：朝 ゆうべ：夕方 もとおれば：さまよえば
- ④ あした：明日 ゆうべ：夕方 もとおれば：見渡せば
- ⑤ あした：明日 ゆうべ：夕方 もとおれば：さまよえば

12

(5) ㊦、㊦にあてはまる伴奏の正しい組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

	㊦	㊦
①		
②		
③		
④		
⑤		

13

(6) 「情景を想像して歌おう」という題材名を設定し、中学校1年生に歌唱の授業を行う。題材の目標として適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

ア 歌唱表現に関する知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫し、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付ける。

イ 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音などの技能を身に付ける。

ウ 声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりに関する知識や技能を得たり生かしたりしながら、音素材の特徴及び構成上の特徴をイメージと関わらせて理解する。

エ リズム、旋律、強弱、構成を知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する。

- ① ア・イ ② ア・ウ ③ ウ・エ ④ イ・ウ ⑤ イ・エ

14

(7) 上記の題材における学習活動として適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

① 歌詞を朗読し、情景をイメージし、互いのイメージを発表し合う。

② 旋律の動きや強弱変化、音楽の構成を理解し、ワークシートに書く。

③ 曲想の変化をイメージしながら、指揮を行う。

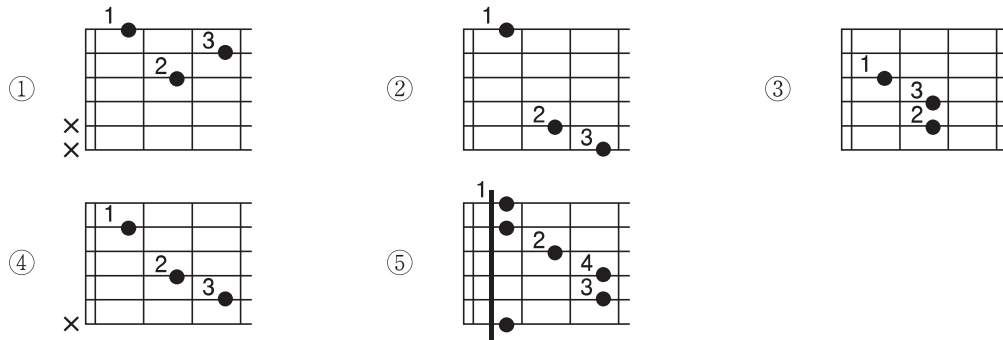
④ 全体の響きを感じながら、曲想にふさわしい打楽器の奏法を創意工夫する。

⑤ 場面ごとの歌詞の内容から、曲想とその変化を理解し、表現を考える。

15

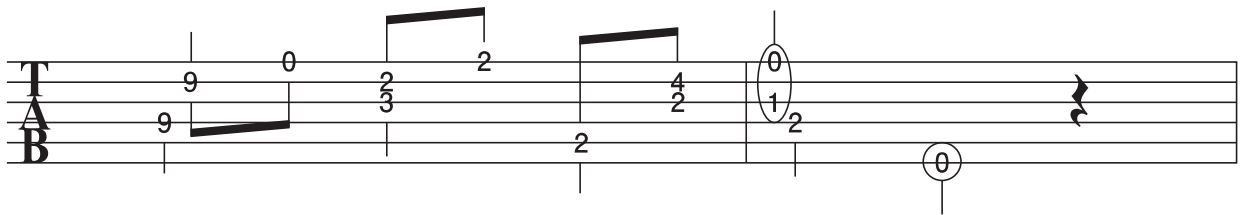
【4】 次の問いに答えよ。

(1) 次のダイアグラムのうち、セブンスコードのダイアグラムを①～⑤から選び、番号で答えよ。×は演奏しない弦、複数の弦をまたぐ縦線はセーハである。



16

(2) 次のTAB譜を五線に正しく記譜したものを①～⑤から選び、番号で答えよ。



(3) リコーダーの奏法について正しいものの組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ア ピッチが低いときは、ジョイント部を差し込む。
- イ 顎を引き、吹き口を軽く歯でくわえて楽器を安定させる。
- ウ 指番号は左手の親指が1、右手の小指が8である。
- エ 低い音を吹くときは、息の出し方を緩やかにする。

- ① ア・ウ ② イ・エ ③ ア・エ ④ イ・ウ ⑤ ア・イ

18

(4) リコーダーの歴史について、次の文の () にあてはまる正しいものの組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

リコーダーはヨーロッパ各地で古くから演奏され、(A) 世紀頃に独奏や合奏、伴奏などで盛んに用いられるようになり、(B) 世紀頃にはヴァイオリンと並ぶ重要な独奏楽器となった。

- ① (A) 15 (B) 16
- ② (A) 16 (B) 17
- ③ (A) 17 (B) 18
- ④ (A) 15 (B) 17
- ⑤ (A) 16 (B) 18

19

【5】 次の問いに答えよ。

- (1) 次の文は箏の奏法の説明である。() にあてはまる正しいものの組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

隣り合った二本の糸を中指の爪で、向こう側から手前側にほぼ同時に弾く奏法を (ア) といい、唱歌では (イ) と記される。

- ① (ア) かき爪 (イ) シャ
- ② (ア) 合せ爪 (イ) シャ
- ③ (ア) 割り爪 (イ) シャンシャン
- ④ (ア) 合せ爪 (イ) シャンシャン
- ⑤ (ア) かき爪 (イ) ツン

20

- (2) 次の文は箏の奏法の説明である。() にあてはまる正しいものの組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

糸を弾いた後、左手で柱の左側の糸をつかみ、右側に寄せる (ア) を行くと、音の高さが (イ)。

- ① (ア) 押放 (イ) 上がる
- ② (ア) 引き色 (イ) 上がる
- ③ (ア) 押し手 (イ) 上がる
- ④ (ア) 引き色 (イ) 下がる
- ⑤ (ア) 押放 (イ) 下がる

21

- (3) 次の文は箏の調弦についての説明である。() にあてはまる正しいものの組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

平調子は (ア) による調子の一つで、(イ) が (ア) になっている。

- ① (ア) 民謡音階 (イ) 二の糸から七の糸
- ② (ア) 都節音階 (イ) 五の糸から十の糸
- ③ (ア) 陽音階 (イ) 二の糸から七の糸
- ④ (ア) 都節音階 (イ) 二の糸から七の糸
- ⑤ (ア) 陽音階 (イ) 五の糸から十の糸

22

(4) 篠笛の説明として適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

ア 篠笛には様々な長さがあり、最も音域が低いものを「一本（または一本調子）」と呼ぶ。

イ 七孔の場合、楽器を構えたときに、上側に七つの指孔、下側に親指でおさえる指孔の、計八つの指孔がある。

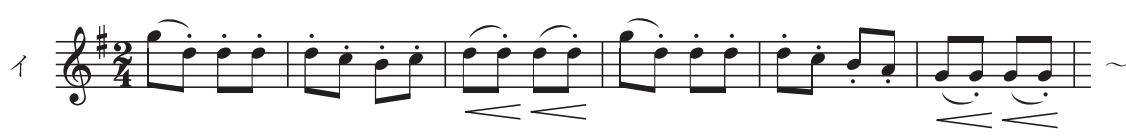
ウ 同じ音が続くときは、タンギングをしながらすばやく指を指孔から離し、すぐにふさぐ「指打ち」をする。

エ 右手の人差し指、中指、薬指は第2関節のあたりで指孔をおさえる。

① ア・ウ ② イ・エ ③ ア・エ ④ イ・ウ ⑤ ウ・エ

【6】 次の楽譜について、下の問いに答えよ。

ア  (オクターブ上)

イ 

ウ 

エ  (オクターブ上)

(1) この曲の作曲者を①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① ブラームス ② リスト ③ ボロディン ④ ラヴェル ⑤ バルトーク

24

(2) この曲の説明として、正しいものの組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ア 第15番まで存在する曲集の中の第5番である。
イ ロマの音楽に基づいている。
ウ ピアノ連弾版ではfis mollで書かれている。
エ オーケストラ作品として爆発的な人気が出たため、その後作曲者によってピアノ連弾版が作られた。

- ① ア・イ ② イ・ウ ③ ウ・エ ④ ア・ウ ⑤ イ・エ

25

(3) 楽譜ア～エについて、演奏される順に並べたものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① ウエイウエアエウ ② ウエイアウエ ③ ウアエイエウ ④ ウエアウエイウエ
⑤ ウアエウイエウ

26

(4)「曲想の移り変わりを味わいながら聴こう」という題材名を設定し、小学校6年生に鑑賞の授業を行う。学習活動として適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

ア 長調と短調の曲想の違いに気付き、演奏を創意工夫する。

イ 旋律の繰り返しや変化に注目しながら演奏を聴く。

ウ この曲で印象に残った箇所を互いに発表し合う。

エ 音楽に合わせて指揮のまねをしながら聴き、感じたことや気付いたことを話し合う。

オ いろいろな音の響きに注目し、楽器の組合せを工夫する。

① ア・イ・ウ ② ア・ウ・オ ③ イ・ウ・エ ④ イ・ウ・オ ⑤ ウ・エ・オ

【7】 次の楽譜について、下の問いに答えよ。



(1) この曲の作曲者と同じ国の作曲家を①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① ペンデレツキ ② シベリウス ③ ニールセン ④ シェーンベルク ⑤ キュイ

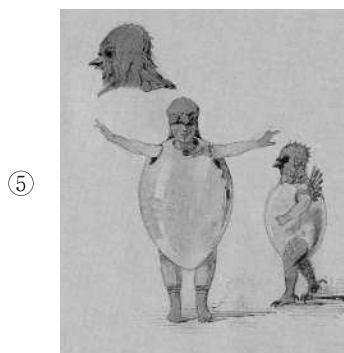
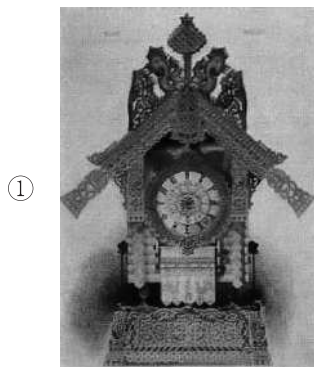
28

(2) この曲の説明として適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① オリジナルはピアノ独奏曲である。
- ② 作曲者は、ドラクロワの展覧会に足を運び、そこでインスピレーションを得た。
- ③ ラヴェルによるオーケストラ編曲版では、楽譜アの旋律が四回演奏される。
- ④ この組曲は作曲者の生前には初演、出版とも行われなかった。
- ⑤ この組曲では打楽器で鞭、タムタム、ラチェットが用いられる。

29

(3) 楽譜ウにインスピレーションを与えたとされる絵画を①～⑤から選び、番号で答えよ。



30

(4) この曲のラヴェル編曲版において、一回目の楽譜ア、および楽譜イ、ウを演奏する楽器の正しい組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- | | | |
|--------------|----------------|------------|
| ① 楽譜ア：ホルン | 楽譜イ：ファゴット | 楽譜ウ：クラリネット |
| ② 楽譜ア：トランペット | 楽譜イ：アルトサクソフォーン | 楽譜ウ：フルート |
| ③ 楽譜ア：トランペット | 楽譜イ：ファゴット | 楽譜ウ：フルート |
| ④ 楽譜ア：ホルン | 楽譜イ：アルトサクソフォーン | 楽譜ウ：クラリネット |
| ⑤ 楽譜ア：トランペット | 楽譜イ：アルトサクソフォーン | 楽譜ウ：クラリネット |

31

(5) 楽譜イの楽曲の内容にあてはまるものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 地中の宝を守っているという土の精
- ② 魔女バーバ ヤガーが住むとされる小屋
- ③ キーウ (キエフ) の大門
- ④ 中世の古城の前で歌う騎士歌人
- ⑤ サンドミシュの牛車

32

(6)「曲の特徴を感じ取りながら音楽を味わおう」という題材名を設定し、中学校第3学年に鑑賞の授業を行う。題材目標について適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

ア 生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わうとともに、主体的に鑑賞の学習活動に取り組む。

イ 音楽表現の共通性や固有性について知識を得たり生かしたりしながら、音のつながり方の特徴を表したいイメージと関わらせて、音楽の多様性を理解しながら鑑賞する。

ウ 曲想と音楽の構造との関わりについて理解しながら、音楽のよさや美しさを味わって聴く。

エ 音楽を形づくっている要素や構造と曲想との関わりを理解し、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。

- ① ア・イ ② イ・エ ③ ア・イ・ウ ④ ア・ウ・エ ⑤ イ・ウ・エ

【8】 次の問いに答えよ。

(1) 田楽の説明として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 神社の祭りや、その地域に古くから伝わる神様などを祀る祭り
- ② 神様を招いて、その前で演じる歌や舞
- ③ 稲の豊作を願うため、農民や専門の芸能者が演じた歌や踊り
- ④ さまざまな工夫を凝らし、歌や囃子に合わせて踊る芸能
- ⑤ 郷土に伝わる能楽、人形浄瑠璃、歌舞伎など

34

(2) 田楽に分類される芸能を①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 日立風流物 ② 綾子舞 ③ えんぶり ④ 阿波おどり ⑤ 天神祭

35

(3) 次の文の () にあてはまるものの適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

文楽（人形浄瑠璃）は（ ア ）世紀末に生まれた日本の伝統的な人形芝居である。（ イ ）の町人文化を背景に発展した文楽は、登場人物のセリフや地の文を（ ウ ）語る。

- ① （ア）17 （イ）大坂 （ウ）太夫と三味線方が分担して
- ② （ア）18 （イ）大坂 （ウ）太夫と三味線方が分担して
- ③ （ア）18 （イ）江戸 （ウ）太夫が一人で
- ④ （ア）17 （イ）江戸 （ウ）太夫と三味線方が分担して
- ⑤ （ア）17 （イ）大坂 （ウ）太夫が一人で

36

(4) 次の文の () にあてはまるものの適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

文楽（人形浄瑠璃）では義太夫節が用いられる。義太夫節は（ ア ）座生まれ、（ ア ）座は近松門左衛門の台本を魅力的な声で語り、人気を博した。義太夫節では（ イ ）三味線が用いられ、太夫と三味線は（ ウ ）と呼ばれる場所で演奏を行い、それに合わせて人形芝居が演じられる。

- ① （ア）文楽 （イ）細棹 （ウ）床
- ② （ア）竹本 （イ）太棹 （ウ）床
- ③ （ア）文楽 （イ）太棹 （ウ）屋台
- ④ （ア）竹本 （イ）細棹 （ウ）屋台
- ⑤ （ア）文楽 （イ）太棹 （ウ）床

37

(5) 文楽の人形を三人遣いで操る時、左遣いが担当する箇所として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 首、右手
- ② 右手、左手
- ③ 右手、小道具
- ④ 左手、小道具
- ⑤ 両足

【9】 次の問いに答えよ。

(1) 次の説明にあてはまる語句を①～⑤から選び、番号で答えよ。

歌によって歴史などを語り伝える音楽家のこと。歴史的な人物の物語や一族の系譜などを伝え、文字の無かった時代には大きな役割を担っていた。伴奏には打楽器や弦楽器が用いられ、それぞれの家系で用いる楽器が決まっており、演奏方法は代々引き継がれている。

- ① バラライカ ② シタール ③ ツィター ④ グリオ ⑤ バラフォン

39

(2) (1) で用いられる楽器を①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① モリンホール ② ナイ ③ コラ ④ ズルナ ⑤ ケーナ

40

(3) 次の説明にあてはまる国を①～⑤から選び、番号で答えよ。

肩ひもを掛けて太鼓を脇に挟み、皮ひもの締め付けを調節して音高を変えながら言葉を伝達する。伝達できる言葉はあらかじめ決められているという。

- ① ブルガリア ② スペイン ③ アルゼンチン ④ アゼルバイジャン ⑤ ガーナ

41

(4) 次の文を読み、() にあてはまる国を①～⑤から選び、番号で答えよ。

19世紀中頃にヨーロッパに伝えられ、広く知られるようになった、2拍子で中ぐらいからゆっくりしたテンポで演奏される () の舞曲や歌。この国の首都にちなんで名づけられている。スペインのセバスティアン・イラディエルが歌曲《エル・アレグリート》にこの音楽のリズムを取り入れ、この曲に影響を受け、ビゼーはアリアを作曲した。

- ① キューバ ② トルコ ③ ブラジル ④ マレーシア ⑤ インド

42

(5) 次の2つの楽曲ア、イに影響を与えたとされる民族音楽を①～⑤から選び、番号で答えよ。



- ① ガムラン ② メヘテルハーネ ③ チャールダーシュ ④ ラーガ ⑤ ポロネーズ

【10】 次の問いに答えよ。

(1) 「小学校学習指導要領」(平成29年3月 文部科学省)における「第2章 第6節 音楽 第2 各学年の目標及び内容 第5学年及び第6学年 2 内容 A表現 (1) 歌唱」の記述について、あてはまらないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

	(1) 歌唱の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
「思考力, 判断力, 表現力等」	ア ①歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつこと。
「知識」	イ ②曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解すること。
「技能」	ウ 思いや意図に合った表現をするために必要な次の(ア)から(ウ)までの技能を身に付けること。 (ア) ③範唱を聴いたり、ハ長調及びイ短調の楽譜を見たりして歌う技能 (イ) ④呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能 (ウ) ⑤各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能

44

(2) 次の文は、「小学校学習指導要領」(平成29年3月 文部科学省)における「第2章 第6節 音楽 第3 指導計画の作成と内容の取扱い」に関する記述の一部である。() にあてはまる語句の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

(6) 各学年の「A表現」の(3)の音楽づくりの指導に当たっては、次のとおり取り扱うこと。 ア 音遊びや即興的な表現では、(a) から (b) を探したり、リズムや旋律を (c), 音楽づくりのための発想を得ることができるよう指導すること。(後略)

- | | | |
|-------------|---------------|---------------|
| ① (a) 身近なもの | (b) 多様な音 | (c) 模倣したりして |
| ② (a) 様々な楽器 | (b) イメージにあった音 | (c) 模倣したりして |
| ③ (a) 様々な楽器 | (b) 多様な音 | (c) 創意工夫したりして |
| ④ (a) 身近なもの | (b) イメージにあった音 | (c) 創意工夫したりして |
| ⑤ (a) 身近なもの | (b) 多様な音 | (c) 創意工夫したりして |

45

(3)「中学校学習指導要領」(平成29年3月 文部科学省)における「第2章 第5節 音楽 第2 各学年の目標及び内容 第2学年及び第3学年 1 目標」の記述について、あてはまる文を①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 音楽表現を考えて表現に対する思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさなどを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。
- ② 曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。
- ③ 曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- ④ 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。
- ⑤ 主体的に音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。

46

(4)「中学校学習指導要領」(平成29年3月 文部科学省)における「第2章 第5節 音楽 第2 各学年の目標及び内容 第2学年及び第3学年 2 内容 A 表現 (2) 器楽」の記述について、あてはまる適切なものの組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

a	次の(ア)及び(イ)について理解すること。 (イ) 楽器の音色や響きと奏法との関わり
b	次の(ア)から(ウ)までについて理解すること。 (イ) 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わり
c	次の(ア)及び(イ)について、表したいイメージと関わらせて理解すること。 (ア) 音階や言葉などの特徴及び音のつながり方の特徴
d	次の(ア)及び(イ)の技能を身に付けること。 (ア) 創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能
e	次の(ア)及び(イ)の技能を身に付けること。 (イ) 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能

- ① a・c・e ② b・c・d ③ c・d・e ④ a・d・e ⑤ b・c・e

47

(5) 次の文は、「高等学校学習指導要領」(平成30年3月 文部科学省)における「第2章 第7節 芸術
第2款 各科目 第1 音楽Ⅰ 3 内容の取扱い」に関する記述の一部である。()にあてはま
る語句の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

(5) 内容の「A表現」の指導に当たっては、生徒の(ア)等を考慮し、(イ)及び(ウ)
の指導を含めるものとする。

- | | | |
|------------|-----------|-----------|
| ① (ア) 学習実態 | (イ) 読譜 | (ウ) 記譜と編曲 |
| ② (ア) 特性 | (イ) 読譜 | (ウ) 記譜と編曲 |
| ③ (ア) 特性 | (イ) 視唱と視奏 | (ウ) 読譜と記譜 |
| ④ (ア) 学習実態 | (イ) 視唱と視奏 | (ウ) 記譜と編曲 |
| ⑤ (ア) 学習実態 | (イ) 視唱と視奏 | (ウ) 読譜と記譜 |

【11】 次の各問いに答えよ。

(1) 次の楽譜の曲が作曲された時期にあてはまるものを①～⑤から選び、番号で答えよ。



- ① ロマン派 ② 古典派 ③ バロック ④ ルネサンス ⑤ 近現代

49

(2) 次の作曲家のうち、国民楽派に分類されない作曲家を①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① ドボルジャーク ② スメタナ ③ デュカース ④ グリーグ
⑤ リムスキー＝コルサコフ

50

(3) 次の楽譜の曲が初演されたころに、日本で起きた出来事を①～⑤から選び、番号で答えよ。



- ① 足利義満が能を観能する
② 江戸幕府が開かれる
③ 「解体新書」の初版が発行される
④ 天保の改革が行われる
⑤ 日清戦争が始まる

51

(4) 日本音楽史における出来事について、古いものから順にならべたものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ア 生田流箏曲が生まれる
イ 三味線が伝来する
ウ 平曲が生まれる
エ 田楽が流行する

- ① ア→ウ→エ→イ ② ウ→エ→イ→ア ③ ウ→ア→エ→イ
④ エ→ウ→イ→ア ⑤ エ→ア→ウ→イ

52

(5) 西洋音楽における中世の時期の出来事として適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① ノートルダム楽派が活躍する
- ② アルスノヴァが隆盛する
- ③ トルバドゥールが活躍する
- ④ マドリガーレが流行する
- ⑤ マイスタージンガーが活躍する

53

(6) 山田検校と同時期に活動した、西洋の音楽家による作品を①～⑤から選び、番号で答えよ。

① 

② 

③ 

④ 

⑤ 

54

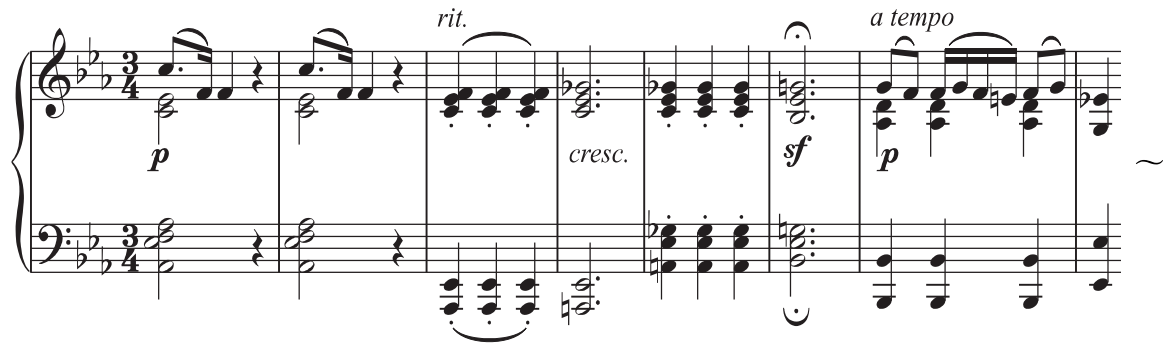
(7) (6) の曲が作曲された時代の特徴にあてはまるものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 階名唱法や定量記譜法が生まれる
- ② 調性が確立する
- ③ 多声音楽が始まる
- ④ 音楽家の自立が始まる
- ⑤ リートや性格的小品が生まれる

55

【12】 次の問いに答えよ。

(1) 次の楽譜を見て、下の文中の(ア)～(ウ)にあてはまる語句をそれぞれ①～⑤から選び、番号で答えよ。ただし、「短調」は「和声的短音階」とする。



冒頭の3小節間は継続して(ア)の和音が鳴り続け、さらに続く2小節間は(イ)の和音が鳴らされ、主和音は6小節目で現れる。

第3小節に鳴っている和音は、(ウ)の調に属する。

ア ① I₇ ② II₇ ③ III₇ ④ V₇ ⑤ VII₇

56

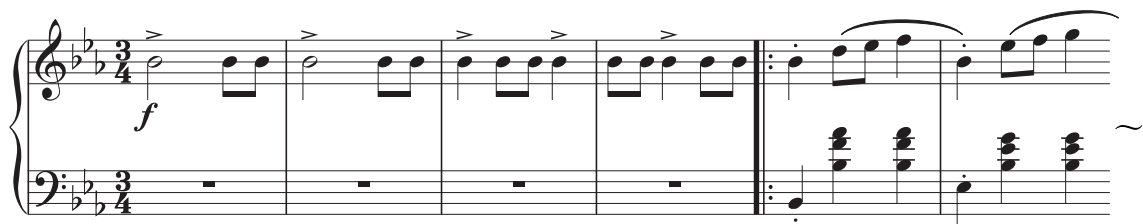
イ ① 減七 ② 短七 ③ 長七 ④ 属七 ⑤ 導七

57

ウ ① 1つ ② 2つ ③ 3つ ④ 4つ ⑤ 5つ

58

(2) 次の楽譜を見て、下の文中の(エ)、(オ)にあてはまる語句をそれぞれ①～⑤から選び、番号で答えよ。



冒頭4小節間はB^b音が単音で連打される。ここまでを聴く限り調性はわからない。

第5小節に(エ)の和音が鳴った瞬間に変ホ長調、または変ホ短調のどちらかであることが認識される。この時点では、まだ主音は(オ)として鳴らされているだけである。

エ ① B^b₇ ② B^b_{sus4} ③ B^b_{dim7} ④ B^b_{m7} ⑤ B^b_{aug}

59

オ ① 先取音 ② 補助音 ③ 経過音 ④ 逸音 ⑤ 倚音

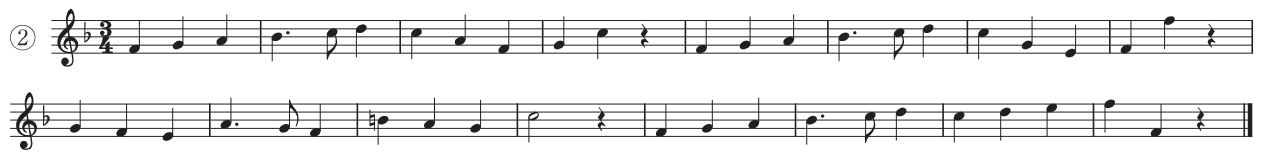
60

【13】 次の問いに答えよ。

(1) 以下の条件に適する (a,a') (b,a'') の二部形式の旋律を①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ・ 第3小節は下行形になっていること。
- ・ 第5小節は上行形の順次進行であること。
- ・ 第9小節は旋律に保留を含んでいること。
- ・ 第16小節は跳躍進行を含んでいること。

① 

② 

③ 

④ 

⑤ 

(2)「中学校学習指導要領」(平成29年3月 文部科学省)における「第2章 第5節 音楽 第2 各学年の目標及び内容」に示された「音楽を形づくっている要素」において、「音のつながり方」と結びつきが強いとされるものの組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

ア 和音 イ 動機 ウ テクスチャ エ リズム オ 旋律

① ア・イ ② ウ・オ ③ エ・オ ④ ア・イ・オ ⑤ イ・ウ・エ

62

(3)「構成を生かし、音のつながり方を工夫してまとまりのある旋律をつくろう」という題材名で、中学校3年生に創作の授業を行う。学習活動として適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

ア 生徒の自主性を重んじ、条件や課題は設定せず、即興的に音を出し旋律をつくる。

イ 教師が創作した旋律を聴き、旋律から受けたイメージを発表しあう。

ウ 初めに創作に必要な理論など知識や技能を十分指導したのち、生徒が旋律の創作を創意工夫する。

エ つくった音楽を、五線譜だけでなく、文字、絵、図、記号、コンピュータなどを用いて、生徒が作品を記録する方法を工夫できるようにする。

① ア・イ ② イ・ウ ③ イ・エ ④ ア・ウ・エ ⑤ イ・ウ・エ

63

